

## ドバイでの北海道の食・観光プロモーションの取り組み

2017年12月21日  
在ドバイ日本国総領事館

### ドバイと北海道の関係

ドバイは、中東地域最大の約3,000人の日本人コミュニティを擁し、日本食レストランが200軒以上営業する、日本産食品の有望な市場の一つとなっています。その中で、近年北海道は2015年10月の高橋北海道知事のドバイ訪問、同年2月の高井副知事のドバイ訪問等ドバイとの関係強化に熱い視線を向けてきました。

在ドバイ総領事館も、2014年2月、11月、2015年10月、2017年2月と、過去4回の北海道フードフェア会場として総領事公邸を提供、2016年7月には冬の北海道を応援するキャラクター「雪ミク(初音ミク)」の導入セレモニーに参加、総領事館が開催する天皇誕生日レセプションでも、昨年は北海道観光映像の上映、今年は北海道産米(ゆめぴりか)を会場に展示する等ドバイでの北海道製品の売り込みを側面支援してきました。

### ドバイでの”Hokkaido Ramen Fair”の開催

12月7日～9日には、経済産業省北海道経済産業局児嶋局長率いるミッションがドバイを訪れ、「Hokkaido Ramen Fair」を開催しました。このイベントでは、北海道から派遣されたラーメン調理師の皆さんが、今年8月に北海道で研修を受けたドバイの料理人の皆さんと共同開発したラーメン11,400食が来客に提供されました。ラーメンの麺は、北海道札幌市にある西山製麺の製造した麺を使っています。梅澤駐ドバイ総領事が、会場の一つであるドバイマリーナ地区の高級レストラン”Atelier M”で本イベントの開催を歓迎する挨拶を行った他、総領事館による事前広報が行われました。



挨拶する梅澤総領事(12月8日)



主催者の児嶋北海道経済産業局長の挨拶(12月8日)

同じドバイマリーナ地区にあるヌードルバーの”Wokyo”では、3日間にわたり、約700食の札幌ラーメンを提供しました。また、”Atelier M”ではわんこ蕎麦方式で提供される札幌ラーメンを様々な国籍の方が楽しむとともに、北海道観光映像の上映を通じた食・観光資源の発信が行われました。2つの会場では、日・UAEの混成ユニット”Kharsha Drums”による和太鼓パフォーマンスが披露され、日・UAEの文化交流の1シーンにもなりました。



提供されたラーメン

在ドバイ総領事館は、今後も食を中心とした日・UAE、日・ドバイ間の文化交流の促進に尽力していく所存です。